

J Fレポート

J FクラスはI OMクラスと同じ艇長1 mです。何をいまさらとの考えや意見もあります。

しかし同じ1 mでもI OMにはセール面積や重量キール長等に厳密なルール制限があります。そのI OMのハルに違うサイズ重量のキールバラストを付けたらどの様な走りを見せるだろうとかカーボンのマストを付けたらどう変化するだろうとか等、興味や疑問を持つ人が少なくないと思います。この私もその一人です。

実験に使用できるカーボンやケブラーのハルを多数持っていますが、今回は違いを解りやすくするため現役グラスファイバー製のI O M P I k A N T O艇を使用しました。

キール長を420 mm バラスト重量を2200 gとし インサイドバラストの除去やバッテリー小型化で300 g 軽減、リグはカーボン製でI OMリグより100 g 軽くしたため全重量4000 gのI OMに比べ700 g 軽くなり スピードや回転など運動性が大幅にアップしました。おかげで36艇とJ Fリグの組み合わせた軽量俊足艇本来のJ F艇を上回ることができました。一方初日に連続4回トップを取った嵐田艇や、終始安定して上位をしめた池島艇、もう少し風が強かったら違う展開になったと思える池田艇等々、今後も工夫を続けようと思っています。そして、これからもピカントでI OMとJ F両クラスでレースを楽しんで行こうと思っています。以上